on monday 月曜訪問

㈱だいわ

環境にも優しいペレットストーブを新たな看板に

旧野村町で昭和27年に創業。一般建築・商業建築、土木工事の設計施工を行う。和氣恵次社長（53歳）は2代目で、社長になり25年を数える。

建築では12年前、柿渋塗料や手すき和紙等の自然素材を使った「だいわ健康住宅」を生み出し展開。かつては年間約10棟を新築し、最近はリフォーム需要が増えている。

そうしたなか、西予市が第3セクター会社を通じ、スギとヒノキの木質ペレット生産に着手。今後本格化することから、「バイオマスエネルギーのストーブを投入し、ペレット消費に対応したい。自然素材を大切にする当社の方針にも合う」（同社長）とし、一昨年10月から「ペレットストーブ西予」の店名で豊臣工業㈱（名古屋市）製ペレットストーブの販売を始めた。

炎がイロイロみられるレットストーブ

だいわが扱うのは全6タイプで、販売価格は45万～60万円（付帯工事費含む）。このほど本社事務所に専用のショールームも設けた。

ペレットストーブの長所について同社長は、「薪と違い、ボタン1つで着火・火力調節・消火ができ、炎による癒し効果がある。輻射熱で部屋全体を暖めてくれ、環境にも優しい」と説明。燃料タンクに貯蔵したペレットを少量ずつ自動燃焼させ、排気ガスは専用ダクトで排出する。20㌔㌘のペレット（1千円相当）で4日間全灯できるのが目安という。

このほどオープンしたショールーム

一方、同市は近く、ペレットストーブ購入に対する補助金制度を創設し、ペレットの販売価格も決める。これに伴い、需要が顕在化することが予想されていて、同社は現在、予約注文を開拓中。「西予市だけでなく広く拡販し、年間10～20台販売したい」（同）とし、自社の看板商品に育てる考えだ。

▽本社＝西予市野村町野村14▽資本金2千万円▽☎0894―72―2428